

SINCE 2002

勇気は機関車

第23号平成18年6月24日

作成者 池部 徹

...ストーリー...



小学生の頃、給食に出るパンの中でもコッペパンは最初嫌いだった。味がないからおいしくないし、コッペパンの日はとても残念だった。まだ黒糖パン・ミルクパンの方がマシだった。～贅沢ですね～ある時、学校の前にある給食センターを通る時、給食を一所懸命作ってくれているおばさんを見て考えが変わった。友達に「一所懸命作ってくれるのを考えて食べると甘く感じるよ!」と言ったのを思い出す。また、実際自分でも甘く感じていた。

NHK「風のハルカ」の中で・・・立地条件や料理で悩みレストラン出店に躊躇するハルカのお父さんがいる。ある暴風雨の夜、道に迷ったコックが家に訪れる。お腹が減った一と、手際よくそこにあった野菜だけで素晴らしい美味の料理を創り上げてしまう。そのおいしさに唖然とするお父さんは質問する。「なぜ?こんなすてきな料理が創れるんですか?」彼は語る。「料理にもストーリーがあるんです!悪天候・突然の出会い・湯布院・自家製野菜・会話すべての縁が重なりこの料理がある。ストーリーこそ料理そのものなんです!」と・・・。

モノへの感じ方は、考え方で変わるものだと思う。どんなものでも好きになる要素はあるような気がする。

